



# メディアインダストリにおける New Relic活用パターン

Chie Sasaki

New Relic K.K.

# 自己紹介



佐々木 千枝 (ささき ちえ)

New Relic 株式会社 シニアソリューションコンサルタント

最近は主にメディア、MaaS、ECのお客様に  
ソリューションを提供中

# New Relicをご利用中のメディア事業の一例



動画配信事業



電子書籍



教育コンテンツ

新聞/雑誌

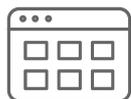


口コミサイト・  
ポータルメディア



# メディア事業の収益モデル

## 広告収入



コンテンツ内広告

## 利用者課金



サブスクリプション

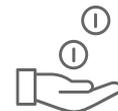


コンテンツ販売  
関連物販

## コンテンツ 提供者課金



掲載料



成約報酬

# ビジネスの成功にとって重要なのは、 コンテンツの質に加えてサービスの信頼性

広告収入

利用者課金

コンテンツ  
提供者課金

魅力的なコンテンツ(面白い、役に立つ、便利)

+

コンテンツを安定して快適に見られる

確実な広告配信

課金への誘導時の  
スムーズな手続き

提供者側機能の  
快適な操作

# ビジネスの成功にとって重要なのは、 コンテンツの質に加えてサービスの信頼性

広告収入

利用者課金

コンテンツ  
提供者課金

魅力的なコンテンツ(面白い、役に立つ、便利)

+

コンテンツを安定して快適に見られる

確実な広告配信

課金への誘導時の  
スムーズな手続き

提供者側機能の  
快適な操作

**New Relic**を活用いただいている箇所

どうやって(How)活用しているかはLTでたっぷり話していただいたので、  
何の機能(What)を使って活用することが事例として多いかを、New Relicセッ  
ションではお話しします

使ってない機能があれば今から使ってみよう！



# New Relicを活用している人はこれをしている ～メディアインダストリ編

## [初級編]

- なるべく広範囲へのエージェント導入 (特にフロントエンド)
- 分散トレーシングの有効化

## [中級編]

- ダッシュボードを使った可視化
- AIOpsを使った異常検知

## [上級編]

- ユーザー属性など追加情報の収集
- SLIの計測 (Custom Event含む)

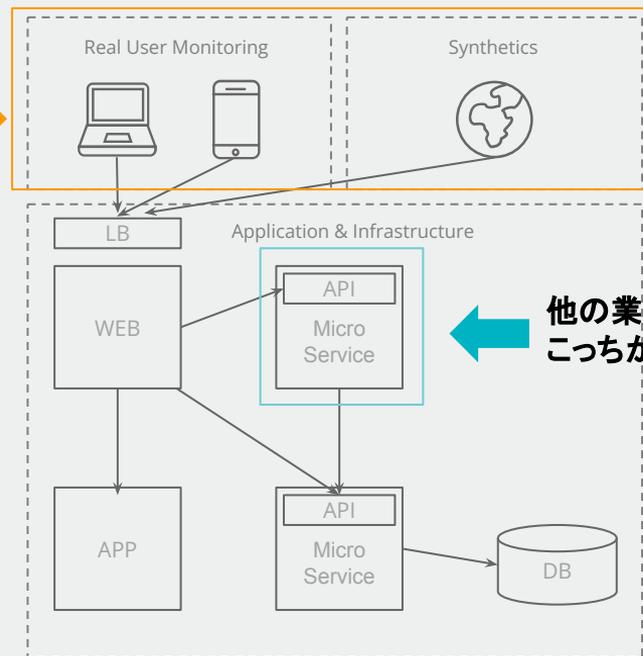
## 初級編

### なるべく広範囲へのエージェント導入 (特にフロントエンド)

メディアインダストリではよりユーザー体験が重視されているため、フロントエンドを計測している割合が他の業界に比べて多い傾向があります。

また、サーバーサイドも複数の API サーバーからなる構成が多く、その全てにエージェントを入れていただくケースが多いです。

メディアは  
ここも多い

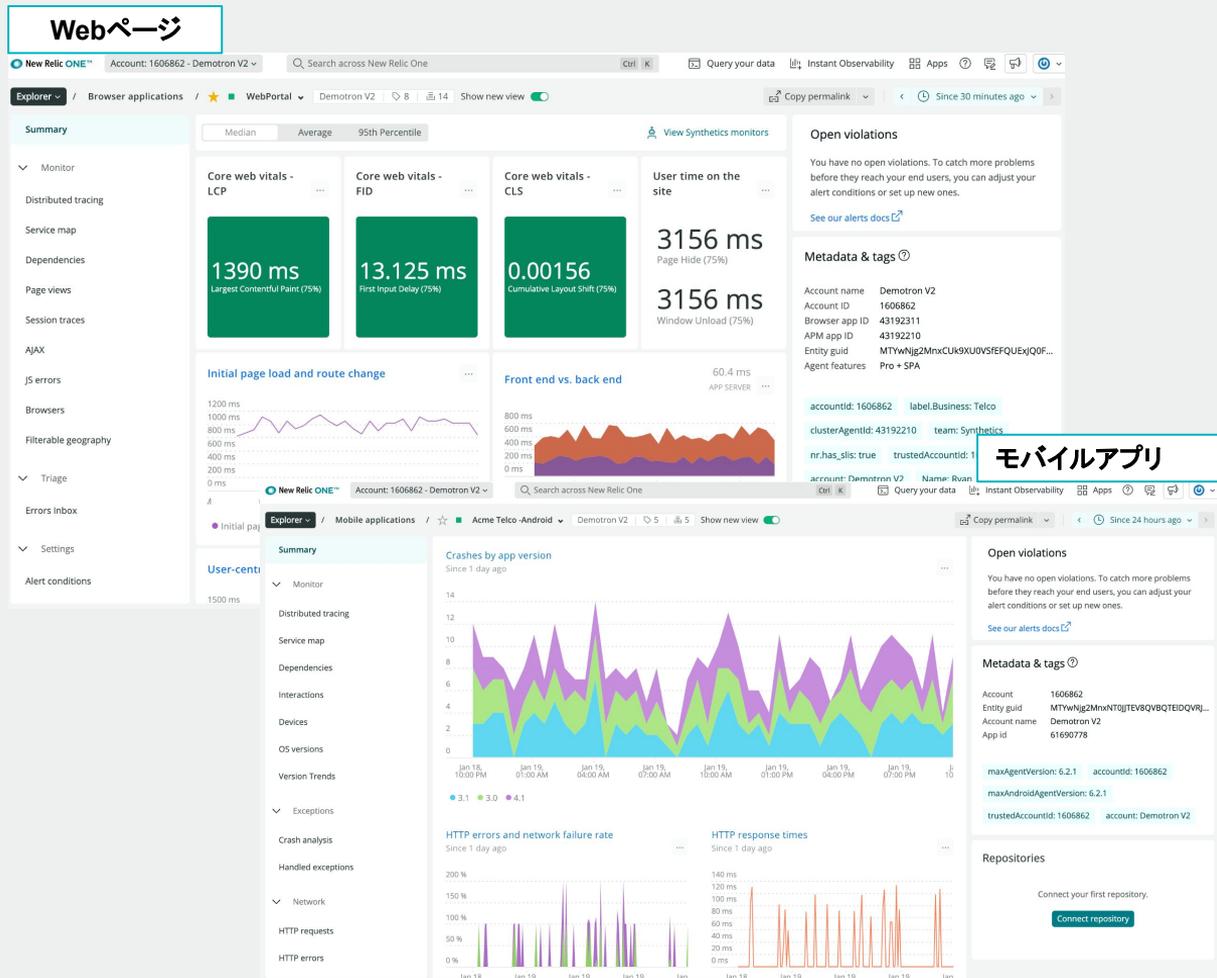


他の業界は  
こっちがメイン

## なるべく広範囲へのエージェント導入 (特にフロントエンド)

フロントエンドにもエージェントを導入すると、これまでお客様の問い合わせ起因で気づいていた不具合を、自分たちで気づくことができます。

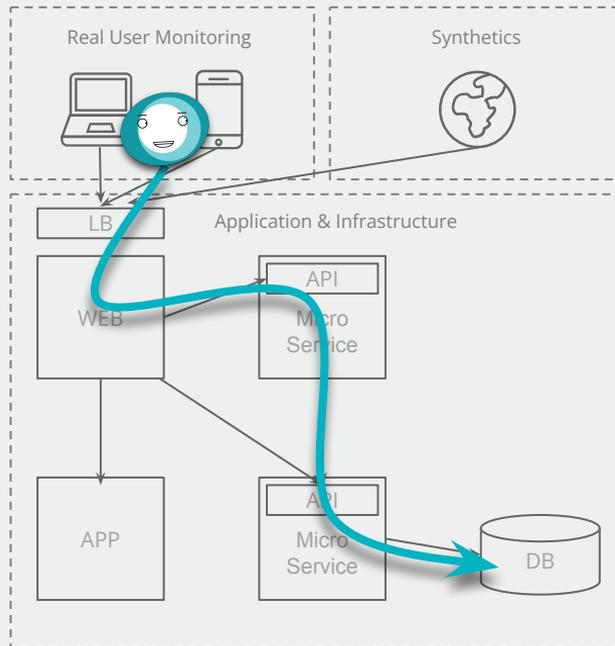
また障害対応以外の利用方法として、ユーザーの利用状況・環境などを把握し、改善、投資判断を行うこともできます。



### 分散トレーシングの有効化

分散トレーシングを使うと、フロントエンドを起点に、1つのトランザクションを関連コンポーネントをまたいで追うことができるようになります。

ユーザーから見た“使えない！”という状態の問題切り分けに役立つ機能です。

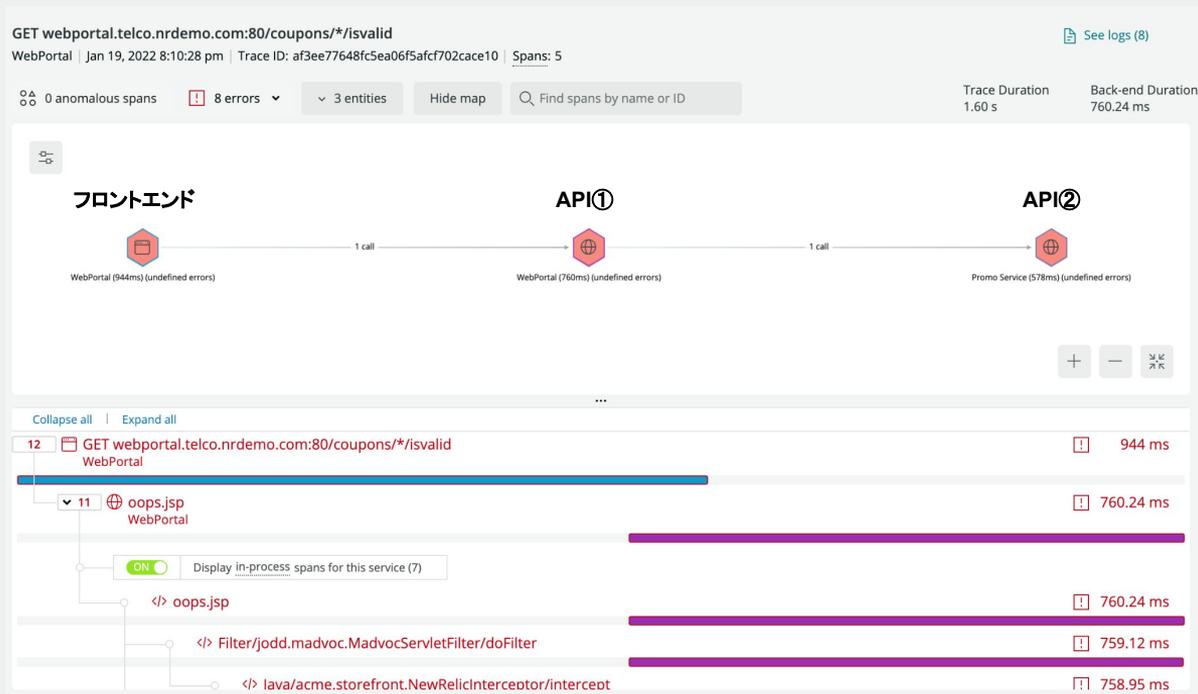


## 分散トレーシングの有効化

最新のNew Relicエージェントの多くは、デフォルトで分散トレーシングが有効化されています。

現在有効化されていない場合は、最新版のエージェントにアップデートするか、エージェントのパラメータを変更して有効化することができます。

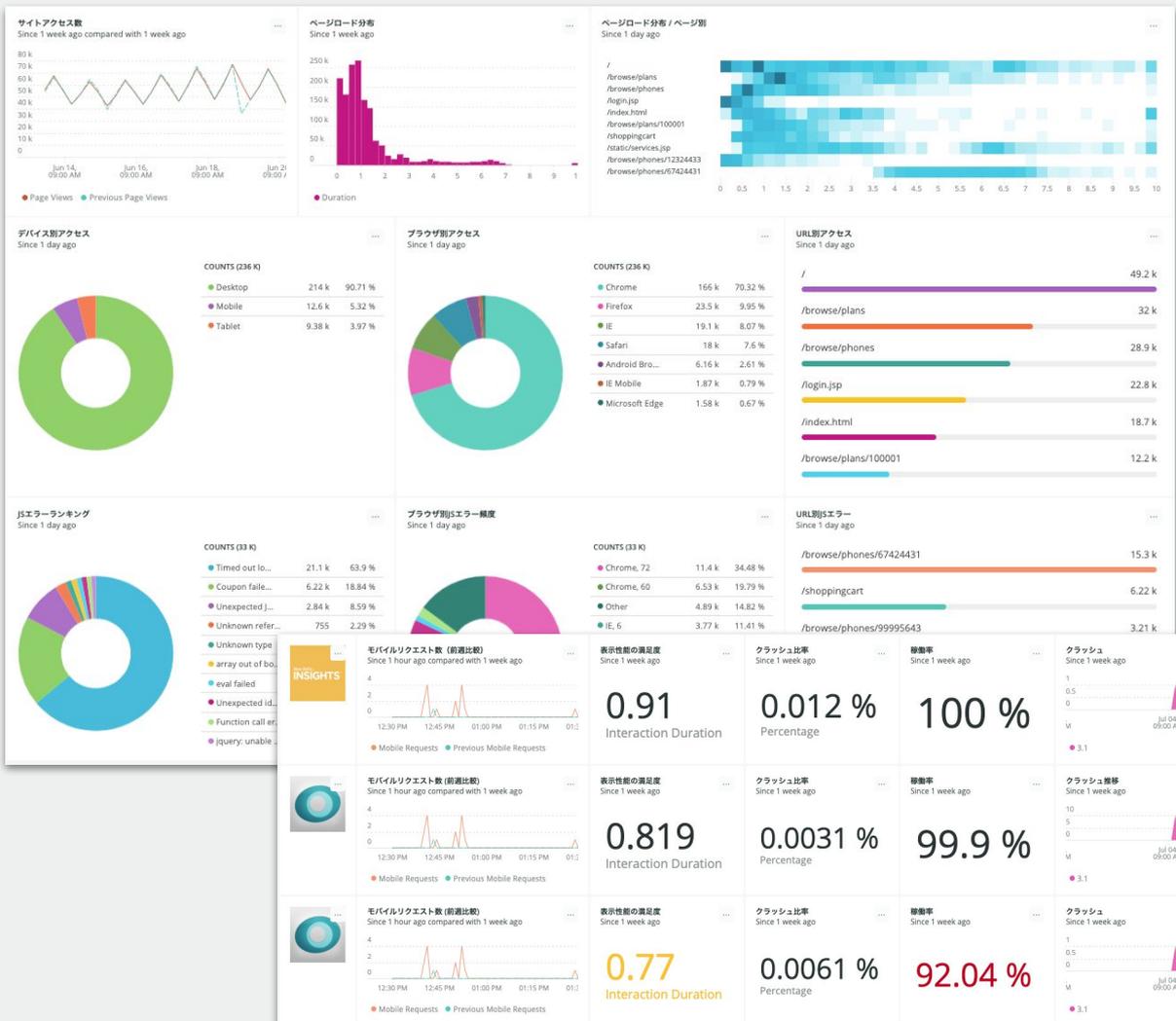
<https://docs.newrelic.com/docs/distributed-tracing/enable-configure/overview-enable-distributed-tracing/>



## ダッシュボードを使った可視化

各エージェントから収集したデータを使ってカスタムのダッシュボードを作ることによって、より目的志向の分析ができるようになります。

重要な画面やAPIを抽出して見る、コンテンツごとの分析を試みるなど、用途に応じたダッシュボードをカスタマイズしましょう。



## AIOpsを使った異常検知

メディアインダストリの特徴の一つが、予期しなかった突発的なアクセス集中が発生することがある、という点です。

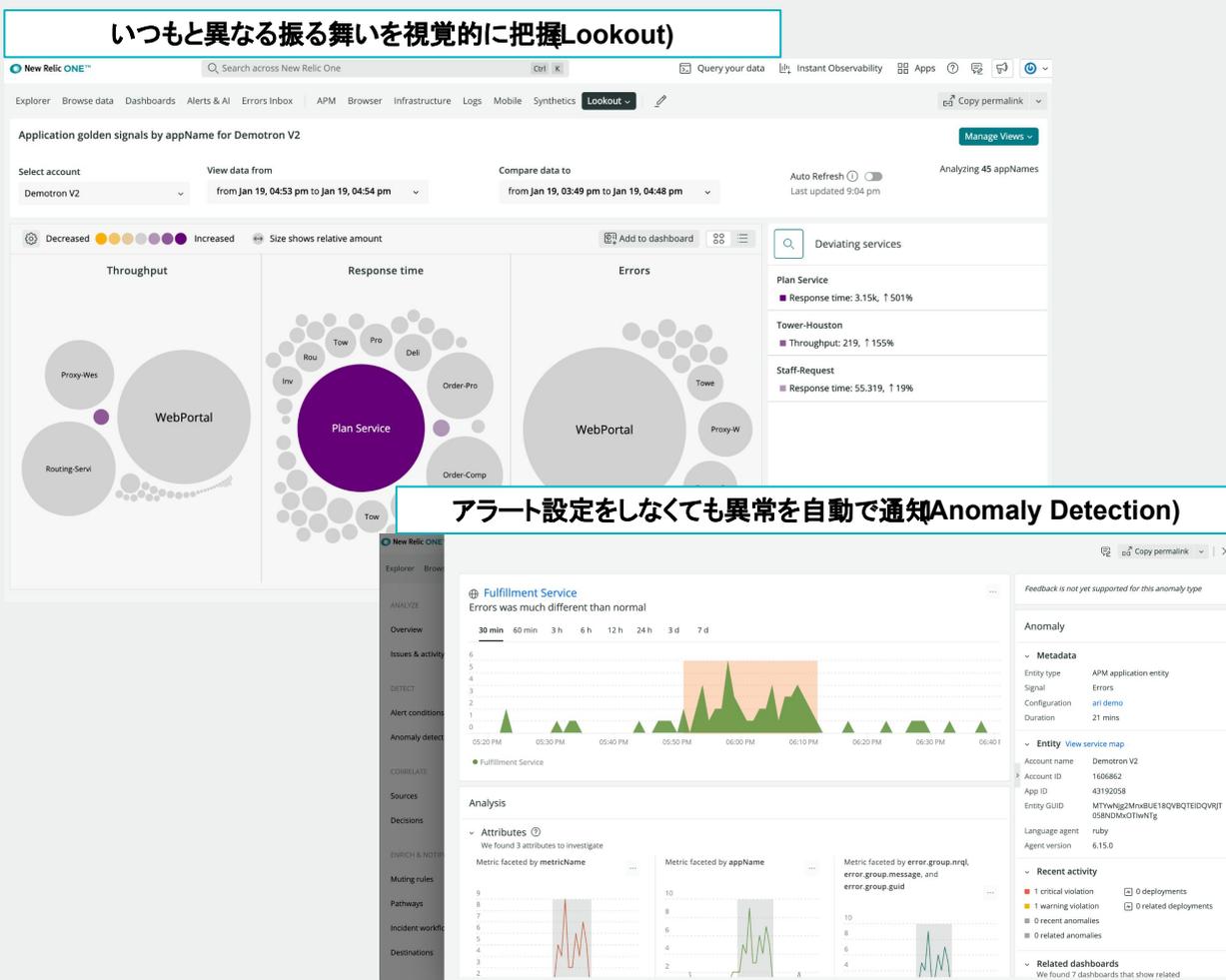
いつもと異なる振る舞いにすぐに気づくために、AIOpsの機能で可視化したり、通知を受けたりすることができます。

Lookout:

<https://docs.newrelic.com/docs/new-relic-one/use-new-relic-one/core-concepts/new-relic-lookout-monitor-your-estate-glance/>

Anomaly Detection:

<https://docs.newrelic.com/docs/alerts-applied-intelligence/applied-intelligence/proactive-detection/expanded-anomaly-detection/>

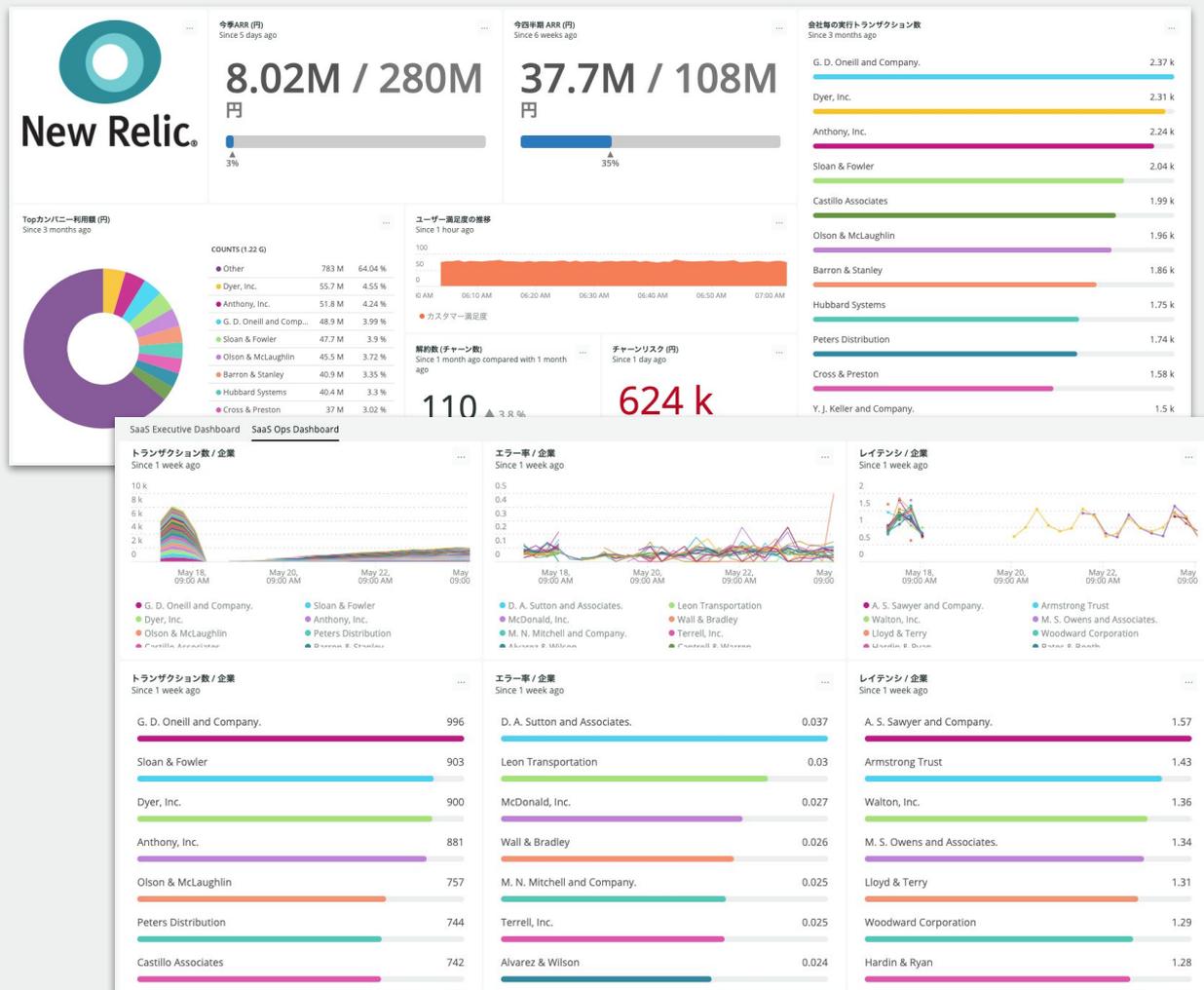


## ユーザー属性など追加情報の収集

ユーザーIDやテナントIDなど、システムの特性に応じた属性を、Custom Attributeとして追加で収集することができます。

例えばお客様から使えないなどの問い合わせがあった際、ユーザーIDでデータを検索すれば、そのお客様で何が起こっていたのかをすぐに突き止めることができます。

<https://docs.newrelic.com/docs/data-apis/custom-data/custom-events/collect-custom-attributes/>



## SLIの計測 (Custom Event含む)

ビジネスにとって最もクリティカルな指標をSLIに設定し、計測、可視化することはビジネスの成長にとって不可欠です。

SLIの計測には、エージェントがデフォルトで収集しているデータを利用できます。それに加えて Custom Eventを使用し、例えばあるアクションが実行されたらイベントを生成するなどの仕組みを実装するのが効果的です。

<https://docs.newrelic.com/docs/data-apis/custom-data/custom-events/report-custom-event-data/#ways>

### フロントエンドSLO

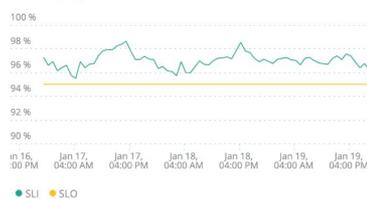
#### Latency SLI/SLO

SLI: トップページが表示速度が4秒以内だった割合  
SLO: 95% (30日間評価)

97.3 %  
SLI(30日間)

#### Latency SLI/SLO

Since 3 days ago



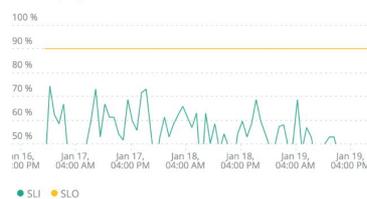
#### Availability SLI/SLO

SLI: 商品決済シナリオの外置監視の成功率  
SLO: 90% (30日間評価)

84.39 %  
SLI(30日間)

#### Availability SLI/SLO(外置監視)

Since 3 days ago



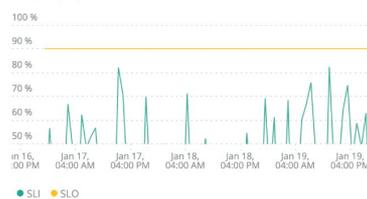
#### Availability SLI/SLO

SLI: モバイルアプリクラッシュフリー率  
SLO: 90% (30日間評価)

85.4 %  
SLI(30日間)

#### Availability SLI/SLO(クラッシュフリー率)

Since 3 days ago



### サーバーサイドSLO

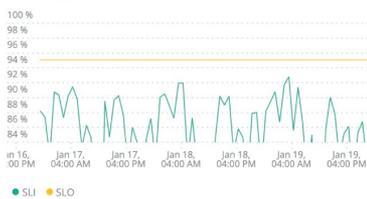
#### Latency SLI/SLO

SLI: 検索APIの応答時間が1秒以内だった割合  
SLO: 95% (30日間評価)

87.36 %  
SLI(30日間)

#### Latency SLI/SLO(検索)

Since 3 days ago



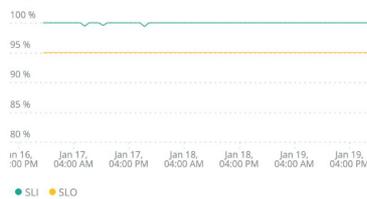
#### Latency SLI/SLO

SLI: 決済APIの応答時間が0.5秒以内だった割合  
SLO: 90% (30日間評価)

99.98 %  
SLI(30日間)

#### Latency SLI/SLO(決済)

Since 3 days ago



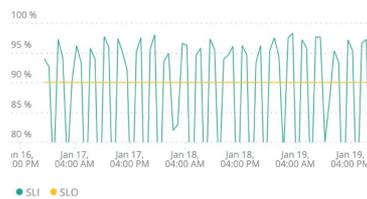
#### Availability SLI/SLO

SLI: 決済APIの成功率  
SLO: 90% (30日間評価)

87.13 %  
SLI(30日間)

#### Availability SLI/SLO

Since 3 days ago



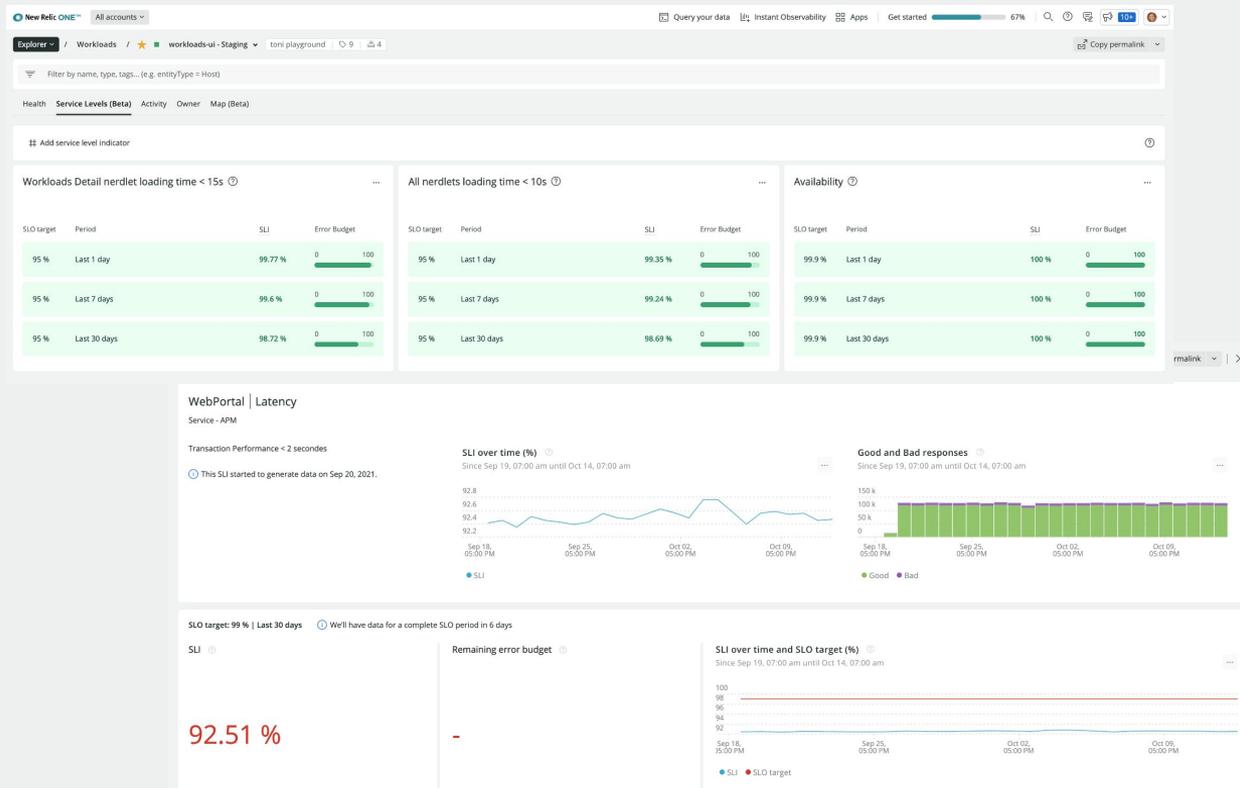
## SLIの計測 (Custom Event含む)

SLIの計測、可視化に特化した機能、“Service Levels”が現在ベータでリリースされています。

気軽にSLIの計測を試したい方はこちらから始めることも可能です。

<https://docs.newrelic.com/docs/service-level-management/intro-slm/>

Public Beta



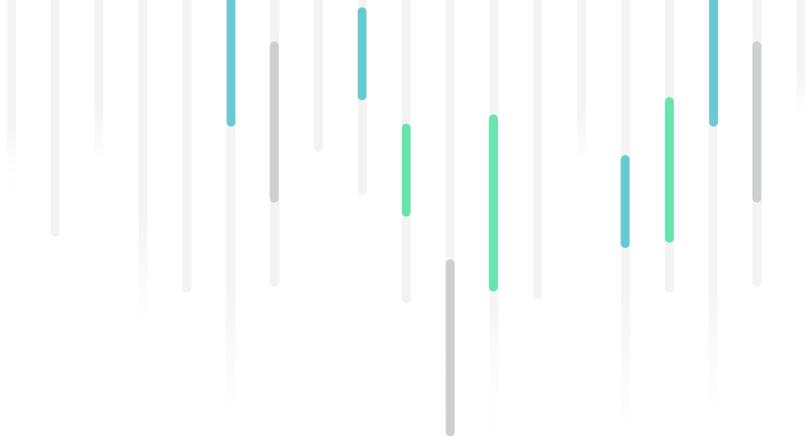
# 最後に

この後の懇親会タイムで、

私はこういう機能使ってるよ！

自分の環境だとこの機能が役に立ちそう！

みたいなことをわいわい話してみてください



# Thank You

[csasaki@newrelic.com](mailto:csasaki@newrelic.com)

